

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	第13回日光杉並木マラソン大会
事業主体の名称	日光杉並木マラソン大会実行委員会
代表者の名称	大嶋 一生(日光市長)
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:日光市に全国各地から多くのランナーを迎え、市民とともに歴史的文化遺産である世界一の杉並木の下を走り、身体と心の交流をとおして、日光市のイメージアップを図る。</p> <p>・設立年月日:平成6年4月1日</p> <p>・構成員等:市内各種団体長等41名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市が有し、ギネスブックにも掲載されている日光杉並木は、国で唯一、特別史跡及び特別天然記念物の両方に登録されており、全国的にも貴重な地域資源となっている。この杉並木の下を走る杉並木マラソン大会は、全国的にも珍しい大会であり、地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献することが期待されているが、十分にアピールできていない。このため、新たな参加者の掘り起こしが課題となっている。
事業目的	日光市に全国各地から多くのランナーを迎え、市民とともに歴史的文化遺産である世界一の杉並木の下を走り、身体と心の交流をとおして、日光市のイメージアップを図ること。
事業概要	<p>3種類のコースを設定し、それぞれ年齢ごとに部門を設け上位6位までを表彰。市内外のランナーを多く迎え、歴史的文化遺産である杉並木の下を走り、心と身体の交流をとおして、健康への意識向上を促すだけでなく、日光市のイメージアップを図った。また、第12回大会から新たに創設したペア部門・親子部門を継続開催し、引き続き参加者の掘り起こしを図った。</p> <p>◎開催日:平成30年8月5日(日曜日)</p> <p>①鷹の巣とりコース(3km) ※小学生部門・中学生部門・ペア部門・親子部門</p> <p>②十石坂コース(5km)</p> <p>③例幣使コース(10km)</p> <p>記念グッズの配布や地域PR等を通じて、日光市の魅力を発信する取組を行った。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内</p> <p>H27年度:14位 → H31年度:10位以内【H29年度:12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光杉並木マラソン大会の開催	日光杉並木マラソン大会の開催	日光杉並木マラソン大会の開催		日光杉並木マラソン大会の開催
事業費	9,833,814	10,341,441	10,100,000	30,275,255	10,100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,000,000	4,250,000	4,250,000	12,500,000	4,250,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000		2,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5,833,814	6,091,441	5,850,000	17,775,255	5,850,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第13回日光杉並木マラソン大会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	4,250,000	うち県費1,000,000円
参加料	5,386,000	一般 2,000円×2,441名 = 4,882,000円 児童 1,000円×303名 = 303,000円 ペア・親子3,000円×67組 = 201,000円
自己資金	497,417	第12回大会繰越金
その他	208,024	荷物預料49,000円、出店料(市内業者:@3,000円×5店=15,000円、 市外業者:@30,000円×1店=30,000円)、ゼッケン再交付代@1,000円×4名=4,000円、 協賛金110,000円、利息24円
計	10,341,441	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	556,040	550,000	250,000	6,040	賞状299,484円、メダル103,356円、謝金153,200円
消耗品費	1,195,542	1,152,000	300,000	43,542	参加賞577,368円、スタッフTシャツ210,060円、スタッフキャップ156,600円、距離看板等87,480円、その他事務用品164,034円
印刷製本費	744,876	700,000	300,000	44,876	大会プログラム作成
食糧費	486,112	300,000	0	186,112	サービス品代(氷104,004円、きゅうり28,000円、飲み物224,337円、朝食100,000円、その他29,771円)
通信運搬費	60,122	60,000	0	122	郵便代57,600円、宅急便代2,522円
手数料	9,044	8,000	0	1,044	クリーニング代4,940円、振込手数料4,104円
保険料	232,770	200,000	0	32,770	マラソン保険232,620円、労働保険料150円
委託料	6,154,947	1,280,000	150,000	4,874,947	HP等保守管理業務委託108,000円、会場整備・設営業務委託1,728,000円、警備委託282,528円、廃棄物収集運搬業務委託32,400円、賞状筆耕委託10,197円、看板設置及び回収委託29,892円、ゴミ拾い委託22,000円、記録計測処理業務委託3,617,930円、東原中学校校庭整備324,000円
次年度繰越金	901,988			901,988	
計	10,341,441	4,250,000	1,000,000	5,189,453	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	第19回日光ツデーウォーク
事業主体の名称	日光ツデーウォーク実行委員会
代表者の名称	会長(日光市長) 大嶋 一生
事業主体の所在	日光市御幸町4番地1
事業主体の概要	・団体の目的:日光ツデーウォークの開催 ・設立年月日:平成11年5月1日 ・構成員等:日光市、(一社)日光市観光協会、NPO法人栃木県ウォーキング協会、(株)とちぎテレビ 他 関係団体代表者等 合計67名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光地域は、世界遺産「日光の社寺」や大谷川・杉並木などの自然を有し、これらの資源を有効に地域活性化に活用することが求められている。地域を訪れる観光客の数は季節によって大きく変動するため、入込客が落ち込む時期(夏季と紅葉シーズンの狭間にあたる9月期)において、誘客につながるイベントを開催し、地域資源を活かした体験型・交流型の観光スタイルを推進する必要がある。
事業目的	世界遺産に登録されている東照宮、輪王寺、二荒山神社を中心とした「日光の社寺」に点在する文化財等が点在し、豊かな自然の中にある「日光路」を歩くなど、地域の自然・歴史・文化など日光市の魅力あふれる着地型観光により、交流人口の増加を図る。
事業概要	【平成30年度】 【概要】 2日間に渡って、ウォーキング大会を実施した。距離に応じて1日あたり3コースを設定。コースは日光の社寺をはじめ、豊かな自然の中を歩くコースを設定。 日時:平成30年9月1日(土) 午前8時30分～ ギネスブック「日光杉並木」コース(5km 13km 20km) 平成30年9月2日(日) 午前8時30分～ 世界遺産「日光の社寺」コース(5km 10km 20km) 会場:日光市日光総合会館(スタート・ゴール) 参加者数:1,406名 ●1日(土) 5km スタート → 稲荷町防災公園 → 日光杉並木 → ゴール 13km スタート → 稲荷町防災公園 → 日光杉並木 → だいや体験館 → 大谷川 → ゴール 20km スタート → 稲荷町防災公園 → だいや体験館 → 市緑ひろば → 日光杉並木 → 大谷川 → ゴール ●2日(日) 5km スタート → 開山堂 → 二社一寺 → ゴール 10km スタート → 開山堂 → 滝尾神社 → 二社一寺 → 化地蔵・憾満方淵 → 大日橋 → ゴール 20km スタート → 開山堂 → 滝尾神社 → 二社一寺 → やしおの湯 → 化地蔵・憾満方淵 → 大日橋 → やしおの湯 → ゴール 【KPI向上の取り組み】 ・5km、10km、20kmと様々なコースを設定することにより、多くの人が参加しやすいよう準備をした。 ・世界遺産に登録されている東照宮、輪王寺、二荒山神社を中心とした「日光の社寺」をコースに取り入れ、実際に一歩一歩体感することにより、文化財豊かな日光市の魅力を幅広く発信し、交流人口の増加、定住化を推進する機会とした。 ・1日目にギネスブック「日光杉並木」コース、2日目に世界遺産「日光の社寺」コースと趣の異なった2種類のコースを設定し長期滞在を促すことにより、地域経済の活性化や日光市の魅力を発信する機会の増加を図った。 【平成31年度】 平成30年度の取組成果を踏まえ、第20回の記念大会及び世界遺産登録20周年記念として、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内【H29年度実績12位】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第18回日光ツデーウォークの開催	第19回日光ツデーウォークの開催	第20回日光ツデーウォークの開催		第21回日光ツデーウォークの開催
事業費	8,222,693	8,282,019	8,300,000	24,804,712	8,300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	6,066,000	6,140,000	6,140,000	18,346,000	6,140,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000		2,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,156,693	2,142,019	2,160,000	6,458,712	2,160,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第19回日光ツデーウオーク	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	1,893,300	・参加料 合計1,807,500円 高校生以上880人(事前申込み2,000円、当日参加2,500円) 中学生以下33人(事前申込み800円、当日参加1,000円) ・参加者弁当@600円×143個=85,800円
市支出金	6,140,000	日光市補助金(うち、県交付金1,000,000円)
繰越金	248,692	平成29年度繰越金
雑入	27	預金利息等
計	8,282,019	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
旅費	14,200	0	0	14,200	代表者会議時旅費
消耗品費	644,558	600,000	300,000	44,558	イベント運営事務消耗品
食糧費	284,810	250,000	0	34,810	豚汁材料、会議時飲物代、協力団体弁当等
通信運搬費	16,938	0	0	16,938	臨時電話使用料等
手数料	54,726	0	0	54,726	汲取手数料、WEB受付手数料等
委託料	6,830,842	5,290,000	700,000	1,540,842	参加者募集業務、製作業務、運営業務、会場設営業務、ゴミ収集運搬業務等
備品購入費	12,096	0	0	12,096	穴あけパンチ
負担金、補助及び交付金	170,000	0	0	170,000	各種公認大会加盟料等
次年度繰越金	253,849	0	0	253,849	
計	8,282,019	6,140,000	1,000,000	2,142,019	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光けっこうフェスティバル2018
事業主体の名称	日光けっこうフェスティバル実行委員会
代表者の名称	大嶋 一生
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 気候が比較的安定し空気の澄む秋に花火大会のほか自然に親しむイベントを開催し、市民及び近隣市町村住民並びに行楽のお客様に印象に残る日光の秋を楽しんでいただき、10万人の集客を目標とする日光の新たな名物を創出していく。 ・設立年月日:平成7年4月1日 ・構成員等:市内各種団体長等80名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>世界遺産の二社一寺や日光国立公園を有する当市は1年を通じて多くの観光客が訪れ、中でも秋は紅葉により観光客が特に増加するが、市外からの観光客と地域住民との交流の機会が少ないため、地域の魅力を広く効果的に発信できていない。 よって、多くの集客・リピーターが見込める秋に、観光客・地域住民の多様なニーズに応え、地域も人も巻き込むイベントを実施することにより、国際的な観光都市としての当市のブランド力をより一層向上させ、交流人口の更なる増加とひいては移住・定住に繋がる機会を創出する必要がある</p>
事業目的	<p>・イベントを通して日光の強みである観光の部分を中心に日光市の魅力を発信し、交流人口の増加を目指す。 ・観光客のニーズに応えるため、地域の商店と連携し、誰にでもやさしい観光のまちづくりを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 【概要】 ①日光けっこうフェスティバル昼間の部(10/13)を所野運動公園で実施 ②日光秋の花火(10/13)を大谷川河畔で実施 ③日光伝統工芸品展示審査会(10/12～10/14)を日光木彫りの里工芸センターにて開催</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・日光秋の花火は、種類・構成等に演出を凝らしショー的要素を強調した近辺に類をみない花火大会となっており、集客効果が高いこのイベントを夜に開催することによって、宿泊も含めて観光客を長時間滞在させ、地域経済の活性化や日光市の魅力を発信する機会の増加を促進した。昼の部、夜の部合わせて約4万8千人を集客した。</p> <p>【平成31年度】 平成30年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内【H29年度実績12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光けっこうフェスティバル2016の開催	日光けっこうフェスティバル2017の開催	日光けっこうフェスティバル2018の開催		
事業費	13,055,646	12,559,986	12,590,099	38,205,731	
市町支出金 (ソフト事業分)	7,470,000	7,310,000	7,250,000	22,030,000	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	5,585,646	5,249,986	5,340,099	16,175,731	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	日光けっこうフェスティバル2018	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	7,250,000	うち県費1,000,000円
イベント収入	420,280	花火特別観覧席 1席あたり1,000円×232席=232,000円 フリーマーケット出店料 1区画あたり1,000円×112区画=112,000円 屋台出店料 1店あたり10,000円×7店=70,000円 伝統工芸売上手数料(即売会売上×5%)=6,280円
協賛金	3,413,000	各種団体及び企業等 (協賛企業)
繰越金	22,797	前年度繰越金
負担金	1,474,000	
その他	10,022	御祝い金10,000円、預金利息20円
計	12,590,099	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	653,358	600,000	250,000	53,358	出演者等謝金70,000円 イベント景品等583,358円
消耗品費	269,612	250,000	125,000	19,612	会場整備用砂代6,866円、 関東一芋煮会材料費等 245,250円、トイレ紙 等その他消耗品17,496円
印刷製本費	456,840	450,000	225,000	6,840	チラシ印刷(35,000部)
保険料	241,800	200,000	100,000	41,800	イベント保険
委託料	10,522,080	5,320,000	265,000	5,202,080	花火大会運営7,600,000円 警備業務委託384,480円 シャトルバス委託129,600円 会場設営費2,408,000円
食糧費	71,280	70,000	0	1,280	弁当35,510円、特別観覧者用 飲物35,770円
手数料	74,565	70,000	35,000	4,565	振込手数料3,564円、チラシ配 布手数料35,101円、煙火使用 許可申請7,900円、仮設トイレ 汲排水料28,000円
広告料	10,800	10,000	0	800	ラジオ告知放送料10,800円
工事請負費	280,000	280,000	0	0	仮設電気配線設備工事 280,000円
通信運搬費	1,296	0	0	1,296	携帯電話レンタル及び通信料 1,296円
次年度繰越金	8,468	0	0	8,468	
計	12,590,099	7,250,000	1,000,000	5,340,099	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	ライトアップ日光2018
事業主体の名称	ライトアップ日光実行委員会
代表者の名称	阿部光記委員長
事業主体の所在	日光市宝殿66番地1
事業主体の概要	・団体の目的:ライトアップ日光の開催 ・設立年月日:平成7年4月1日 ・構成員等:日光市・(一社)日光市観光協会・日光商工会議所等 37名
当該事業に係る地域の現状と課題	世界遺産地区は、二社一寺に代表される歴史的建造物が現存し、年間たいへん多くの観光客が訪れる日光市を代表する観光スポットである。世界遺産の周辺には門前町が形成され、飲食物産業をはじめとする多くの商店が存在する。その一方で、夜間になると早々と閉店となってしまう店舗も多く、せっかくの観光資源が生かし切れていないのが現状である。
事業目的	世界遺産の建造物を中心にライトアップすることにより、幻想的かつ神秘的な夜の社寺を演出する。それと同時に周辺の門前町を含めたさまざまなイベントを行うことで、相乗的に世界遺産地区の新たな夜の魅力を創出し、日光地域の活性化を図る。
事業概要	【平成30年度】 ○開催日:平成30年11月9日(金)~11月11日(日) ○実施内容 ・二社一寺建造物のライトアップ ・来場者の導線に行灯の設置 ・田母沢御用邸記念公園園庭のライトアップ ・神社境内でのフードコートの設置 ・和太鼓の演奏 ・フォトコンテストなど 【KPI向上の取り組み】 ・日光が誇る二社一寺とそれを取り囲む門前町を、夜間、灯りを灯すことで昼間とは異なる見え方をさせ、観光誘客を図った。 ・モバイルスタンプラリーを行い、観光客の満足感高上を図った。 【平成31年度】 継続してライトアップ日光2019を開催予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内【H29実績12位】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

				(単位:円)	
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ライトアップ日光2018の 開催	ライトアップ日光2019の 開催	ライトアップ日光2020の 開催		ライトアップ日光 2021の開催
事業費	2,678,418	2,500,000	2,500,000	7,678,418	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	3,600,000	
うち県交付金	600,000			600,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,478,418	1,300,000	1,300,000	4,078,418	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ライトアップ日光2018	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,200,000	日光市補助金 うち県費600,000円
負担金	600,000	日光商工会議所、(一社)日光青年会議所
一般寄附金	682,000	(一社)日光市観光協会180,000円、二社一寺等協賛金100,000円、 東武鉄道株他402,000円
繰越金	2,912	平成29年度繰越金
雑入	193,506	飲食ブース出店料135,000円、地酒ブース売上48,500円、 寸志(ホライゾンリゾートパートナーズ)10,000円、預金利息6円
計	2,678,418	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	267,000	267,000	133,500	0	殿堂案内謝金、和太鼓演奏 謝金、フォトコンテスト商品
燃料費	85,200	85,000	42,500	200	発電機燃料、 運搬車ガソリン代
食糧費	291,000	0	0	291,000	スタッフ食事代
印刷製本費	350,000	350,000	175,000	0	ポスター・チラシ作成
通信運搬費	5,494	5,000	2,500	494	郵券代等
広告費	70,000	70,000	35,000	0	ホームページ及び 看板製作費
手数料	4,244	4,000	2,000	244	振込手数料等
保険料	15,000	0	0	15,000	イベント傷害保険
委託料	1,580,480	409,000	204,500	1,171,480	照明設置業務、会場設営業 務、LEDミニバルーン設置業務
使用料及び賃借料	10,000	10,000	5,000	0	イベント用品レンタル代
計	2,678,418	1,200,000	600,000	1,478,418	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光市青少年北海道体験研修事業
事業主体の名称	日光市青少年北海道体験研修事業実行委員会
代表者の名称	会長 齋藤 孝雄
事業主体の所在	栃木県日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:北海道体験研修事業の企画・運営及び参加者の決定などを行う。 ・設立年月日:平成23年3月24日 ・構成員等:市内各種団体8名
当該事業に係る地域の現状と課題	本市においては年々人口が減少しており、若い世代の市外への流出が拍車をかけている。当該事業により、次世代を担う青少年が、自ら考え行動できる力、協調性など、リーダーとして必要な力を身につけるとともに、姉妹都市等との交流を通じ、本市の魅力を発信することができる若者の育成を図る必要がある。
事業目的	青少年リーダーを目指している小学6年生、中学1年生や青少年リーダーとして活動している中学生及び高校生が、姉妹都市である苫小牧市、観光パートナー都市である大洗町・倶知安町の方々との交流をとおして、行動力・協調性・リーダーとして必要な力などを身につける。また、他地域との交流により参加者が郷土の魅力を再確認し、郷土への愛着・誇りを高めるきっかけとする。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>○4泊5日の日程で、姉妹都市、観光パートナー都市を訪問する。</p> <p>・日時:事前研修会 平成30年6月30日(土)10:00~12:00、平成30年7月21日(土)10:00~15:00 本研修 平成30年7月30日(月)~平成30年8月3日(金) 事後研修会・成果報告会 平成30年8月18日(土)9:30~15:00</p> <p>・会場:市内、大洗町、倶知安町、苫小牧市、札幌市など</p> <p>・参加者:35名 内訳 小学6年生及び中学1年生 20名、ジュニアリーダー(中学生~高校生)5名、シニアリーダー(大学生等)2名、事務局(責任者・指導員を含む)6名、添乗員1名、看護師1名</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>・本研修以外に、事前・事後研修会を実施することで、参加者自身が意見を出し合い、とりまとめて発表するなど、リーダーとして必要な力を身につける機会とした。また、同時に、自分が暮らす日光市を知ることで、地元への愛着意識の向上を図った。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>・平成30年度の実績を踏まえながら、継続して実施する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる。</p> <p>【KPI】若者の転出数(15~19歳)10%減</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	青少年北海道体験研修事業の開催	青少年北海道体験研修事業の開催	青少年北海道体験研修事業の開催		
事業費	3,961,127	4,340,000	4,340,000	12,641,127	
市町支出金 (ソフト事業分)	3,117,119	3,400,000	3,400,000	9,917,119	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	844,008	940,000	940,000	2,724,008	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	日光市青少年北海道体験研修事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	3,117,119	うち県交付金 1,000,000円
参加者負担金	844,000	小学生30,000円×10人 中学生32,000円×10人 ジュニアリーダー32,000円×5人 シニアリーダー32,000円×2人
雑入	8	利息
計	3,961,127	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報酬	10,000	10,000	0	0	実行委員会、抽選会への出席委員の報酬
報償費	158,600	158,600	70,000	0	報償品25,000円、謝金133,600円
旅費	2,710,560	1,866,552	610,000	844,008	交通費1,768,720円、宿泊費941,840円
消耗品費	121,282	121,282	20,000	0	研修用消耗品購入代58,062円、大志の誓い2,700円、 団員チームキャップ作成49,378円、手土産代6,012円、 フェリーポストカード5,130円
食糧費	253,738	253,738	0	0	参加者の食料費248,928円、交流会飲み物代4,810円
印刷製本費	179,118	179,118	80,000	0	研修事業報告書作成
通信運搬費	31,354	31,354	0	0	通知・成果報告書などの郵送料26,229円、 その他郵送料5,125円
手数料	3,888	3,888	0	0	振込手数料等
保険料	25,410	25,410	0	0	旅行傷害保険16,500円、旅行変更費用保険8,910円
委託料	183,600	183,600	90,000	0	添乗員経費75,600円、看護師経費108,000円
使用料及び賃借料	277,312	277,312	130,000	0	体験活動費254,452円、携帯電話レンタル代3,240円、 ラフティング時移動観察用タクシー代10,980円、 Hルートイン苫小牧ミーティング室使用料3,240円、 札幌東部ホテルミーティング室利用料5,400円
医薬材料費	6,265	6,265	0	0	救急医療品購入代
計	3,961,127	3,117,119	1,000,000	844,008	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	2018日光フォトコンテスト
事業主体の名称	日光フォトコンテスト実行委員会
代表者の名称	委員長 横田 博
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:日光市を被写体としたフォトコンテストを開催し、文化的活動の活性化や日光市の観光振興に寄与する。 ・設立年月日:2006年 ・構成員等:実行委員8名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>広大で豊かな自然環境や世界遺産を持つ日光市であるが、未だ少子高齢化・人口減少が大きな課題となっている。日光市の魅力をより多くの人に発信するため、写真をとおして豊かな自然や文化遺産等を豊富な観光資源としてPRし、日光市のブランドイメージの向上を図ることにより、観光地としての優位性をさらに高め、来訪への期待感を醸成し、交流人口を増やし、移住・定住化を推進する必要がある。</p>
事業目的	<p>日光市は四季折々に変化する山々、清涼あふれる峡谷、世界遺産「日光の社寺」や特別天然記念物「日光杉並木街道」、特色ある祭りなど多くの魅力を兼ね備えた地域である、これらを被写体とした日光ならではのフォトコンテストを開催することで、文化的活動の活性化や日光市の観光振興に寄与することができる。また、入賞作品を活用して県内外で展示を行うフォトキャラバン事業や、データベース化したホームページを公開する等のフォトライブラリー事業を行い、広く日光市の魅力を発信する。</p>
事業概要	<p>平成30年度 【フォトコンテスト事業】 応募期間:平成30年11月1日～30日 公開審査:平成31年1月12日 表彰式/講評会:平成31年2月16日 審査員:石橋睦美(写真家/日本写真家協会/CANON) 審査員特別写真展:平成31年2月15日～26日 【フォト活用事業】 フォトライブラリー(HP)での全入賞作品公開及び貸出 2017入賞作品展 ①平成30年7月9日～17日(日光市) ②平成30年7月18日～27日(日光市) ③平成30年8月3日～9日(宇都宮市) ④平成30年8月30日～9月5日(新宿区四谷) 【KPI向上の取り組み】 ・世界に誇る日光市の自然や街並み、文化を対象にしたコンテストにすることで、広く日光市の魅力を発信した。 ・フォト活用事業では、展示されるパネルのみでなく、ホームページなどで公開した。 【平成31年度】2019日光フォトコンテストを継続的に開催する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング H27年度:14位 → H31年度:10位以内【平成29年度:12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H30年度	H31年度	H32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	2018日光フォトコンテスト フォト活用事業	2019日光フォトコンテスト フォト活用事業	2020日光フォトコンテスト フォト活用事業	/	2021日光 フォトコンテスト
事業費	3,703,258	3,131,000	3,131,000	9,965,258	3,131,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	1,500,000	1,500,000	5,000,000	0
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,703,258	1,631,000	1,631,000	4,965,258	3,131,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	2018日光フォトコンテスト	
対象年度	30	年度
科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	2,000,000	うち県交付金 1,000,000円
応募料	568,000	568点×@1,000円
自己資金	1,105,238	
雑収入	30,020	日光杉並木賞30,000円、預金利子20円
計	3,703,258	

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	2,000,000	うち県交付金 1,000,000円
応募料	568,000	568点×@1,000円
自己資金	1,105,238	
雑収入	30,020	日光杉並木賞30,000円、預金利子20円
計	3,703,258	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	547,208	545,000	272,500	2,208	○副賞@2,400×24個+消費税 ○図書カード(奨励賞)@5000×3枚 ○賞金@最優秀賞150,000円×1、優秀賞50,000×2、特選30,000円×3、日光杉並木賞30,000円×1、入選10,000円×10
旅費	115,700	115,000	57,500	700	フォトコンテスト事業旅費32,800円 フォト活用事業旅費82,900円
消耗品費	79,845	75,000	37,500	4,845	展示用消耗品、事務消耗品等
食糧費	5,964	0	0	5,964	審査会お弁当・飲み物代
印刷製本費	265,032	265,000	132,500	32	チラシ・ポスター印刷代171,936円 入賞作品展ポストカード作成費93,096円
通信運搬費	100,147	100,000	50,000	147	郵券代、展示用パネル輸送料
手数料	13,068	10,000	5,000	3,068	フォトコンテスト事業振込手数料9,828円 フォト活用事業振込手数料3,240円
委託料	1,304,470	540,000	270,000	764,470	入賞作品パネル・データ製作業務307,670円 HP改修業務496,800円 審査等委託500,000円
使用料及び賃借料	354,880	350,000	175,000	4,880	会場借上費289,000円 サーバー借上げ代65,880円
次年度繰越金	916,944	0	0	916,944	
計	3,703,258	2,000,000	1,000,000	1,703,258	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	2nd日光100kmウルトラマラソン2018
事業主体の名称	『日光をランナーの聖地』とする実行委員会
代表者の名称	吉新 巨夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地 日光市役所教育委員会 スポーツ振興課
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:日光の活性化を検討する市民有志の方々が中心となり、日光がランナーの聖地となることを目指して設立された。 ・設立年月日:平成25年11月29日 ・構成員等:市内各種13団体長等により構成
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市を訪れる人の主な目的は観光であり、その他の分野での誘客はあまり見込まれていないのが現状である。そのため、観光とは異なる目的で訪れた人が地域の魅力に触れることができる機会が望まれている。しかし、日光市は全国的に広大な土地と自然の豊かさを誇るが、それを活かしたイベントの開催はとも少ない。そこで、日光市の豊富な地域資源を活かし、日光の名産品などの魅力を発信することができる機会が必要である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントによる地域活性と観光誘客を目的とする。 ・スポーツを通じて日光市の魅力を拡散させる。 ・日光市の地域資源である標高の高い地域はランナーにとってとても走りやすい場所であるため、トレーニングとしても利用できることを参加者に周知する。
事業概要	<p>【平成30年度】 「2nd日光100kmウルトラマラソン2018」 ●開催日:平成30年6月17日(日曜日) 【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光霧降スケートセンターをスタート・フィニッシュに、いろは坂を上り、中禅寺湖東岸を折り返して日光の社寺や鬼怒川温泉、日光杉並木街道など名所を駆ける全長100km、高低差約1300mのコースである。ランナーは、豊かな自然、歴史の薫る街並みを爽やかな風とともに走り抜けた。 ・100kmの部と62.195kmの部があり、完走者全員に完走メダルと完走証を贈呈した。 ・コース内の各関門には、「日光ブランド」食分野で認定された食品のほか、日光老舗名店会の名産品を用意し、ランナーに日光の「食」を堪能していただいた。 ・全国各地で行われているウルトラマラソンの中でも、日光シリーズ=世界遺産シリーズとして位置づけ、ランナーの参加料の一部を公益社団法人日本ユネスコ協会連盟へ寄附した。(日本ユネスコ協会を通じて、世界遺産の保護保全に寄与した。) <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市が誇る名所を駆けることで、参加者に日光市の豊かな自然や歴史の薫る街並みを体感していただいた。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内【H29年度:12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光100kmウルトラマラソンの開催				
事業費	59,219,112			59,219,112	
市町支出金 (ソフト事業分)	4,608,027			4,608,027	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	54,611,085	0	0	54,611,085	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	2nd日光100kmウルトラマラソン2018	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	4,608,027	うち県交付金 1,000,000円
参加料	32,860,445	100kmの部@ 22,000円×1,144人=25,168,000円 62.195kmの部@ 15,000円×537人=8,055,000円 キャンセル者返金分@ {100km×14名、62.195km×6名(それぞれ半額)}=-199,000円 エントリーサイト利用手数料@ -163,555円
自己資金	9,369,820	
事業収入	12,380,820	物販売上8,880,820円、出店料3,500,000円
計	59,219,112	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
賃金	7,137,190	0	0	7,137,190	事務局スタッフ賃金
報償費	5,846,638	1,568,027	500,000	4,278,611	完走証メダル作製費 1,757,043円、 参加賞作製費2,905,983 円、 入賞者表彰品作製費 1,183,612円
通信運搬費	3,087,675	0	0	3,087,675	募集時DM郵送費1,858,864 円、 参加者案内郵送費 1,228,811円
委託料	30,693,014	0	0	30,693,014	距離計測費1,030,000円、 給水所運営3,685,213円、 安全対策費5,897,018円、 式典費1,399,000円、 記録費4,307,544円、 デザイン費1,983,200円、 会場・コース等設営費 7,264,000円、 大会進行管理費5,127,039 円
印刷製本費	1,281,437	1,240,000	200,000	41,437	ポスター印刷費475,852 円、 大会プログラム印刷製本費 535,273円、 競技用記録証等印刷費 270,312円
旅費	4,169,680	0	0	4,169,680	参加者等迎費2,895,019 円、 大会関係者送迎費 1,274,661円
広告費	3,727,440	1,800,000	300,000	1,927,440	募集広告費1,867,760円、 専用WEBサイト運用費 1,859,680円
消耗品費	3,276,038	0	0	3,276,038	競技用各種消耗品
計	59,219,112	4,608,027	1,000,000	54,611,085	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光国際音楽祭 第四回声楽コンクール
事業主体の名称	日光国際音楽祭実行委員会
代表者の名称	下司 愉宇起
事業主体の所在	東京都新宿区西新宿3-9-28-302
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 新たな日光の観光遺産としての礎を築く、日光発信による新人音楽家の発掘、日光地域文化の向上と市民への高レベルな音楽芸術を提供する</p> <p>・設立年:平成27年4月29日</p> <p>・構成員等:地元住民と音楽家 15名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は、2006年に今市、日光両市と藤原、足尾両町、栗山村の5市町村が合併して誕生したが、現在、少子高齢化・人口減少が大きな課題となっている。</p> <p>本市の特徴として、世界遺産の二社一寺や日光国立公園など豊かな地域資源を有する一方、合併後、クラシック分野の音楽祭やコンクール事業など、文化芸術分野での地域PRはほとんど実施できていなかった。</p> <p>今後、上記の課題解決のため、芸術文化面も含めて総合的・多面的な地域の魅力を発信し、観光地の優位性をさらに高め、来訪への期待感を醸成し、交流人口を増やす必要がある。</p>
事業目的	<p>「日光国際音楽祭 声楽コンクール」を開催することによって、日光連山の豊かな自然と有数の世界遺産を抱く日光から、世界的な声楽家を発掘する。</p> <p>・華厳の滝を登り龍となるごとく、このコンクールが声楽家の登竜門として発展してゆき、ここから誕生する声楽家たちが世界へ羽ばたいていってもらおう。</p> <p>・また、ピアノやその他楽器よりも比較的華やかな声楽にすることで市外からの観客動員数を伸ばすとともに、地域市民の音楽への理解を深め、観光遺産として日光のブランドイメージの向上を図るとともに、交流人口を増やし移住・定住化を推進する。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>【概要】</p> <p>第四回日光国際音楽祭 声楽コンクール</p> <p>●予選:実行委員会による音源審査</p> <p>●本選:開催日時:平成31年3月9日(土)</p> <p>開催会場:日光総合会館大ホール</p> <p>本選では一人当たり演奏持ち時間10分間で競う。公開審査のため入場料は無料で、多くの観覧客の来場が見られた。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>・日光市観光大使で、日本全国で数多くの合唱団を指導し自身も多くの楽曲を手掛けマルチに活躍する、声楽家・アーティスト「下司愉宇起」氏が主催団体の代表を務めていることから、知名度のある下司氏が積極的に音楽関係者に事業PRを行った。</p> <p>・事業のPRだけでなく観光PRにも力を入れ、市及び本大会のブランド力向上に繋げるため、全国の音楽大学へ募集要項を送付し、著名な音楽家に審査委員を依頼した。</p> <p>参考:第1回審査員長:東京藝術大学名誉教授・作曲家 佐藤真氏</p> <p>第2回審査員長:東京藝術大学講師・洗足学園音楽大学客員教授・作曲家 青島広志氏</p> <p>【平成31年度】</p> <p>・地域活性化やコンクールの更なる発展を目指しながら、日光国際音楽祭 第五回声楽コンクールを継続して開催予定</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング</p> <p>H27:14位 → H31年度:10位以内(29年度 12位)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度	
事業内容	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール	日光国際音楽祭 第三回声楽コンクール	日光国際音楽祭 第四回声楽コンクール		日光国際音楽祭 第五回声楽コンクール	
事業費	3,100,511	3,244,676	3,396,579	9,741,766	3,480,000	
手続	市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	1,835,000	948,000	4,783,000	0
	うち県交付金	1,000,000	917,500	474,000	2,391,500	
	市町支出金 (ハード事業分)				0	
	うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,100,511	1,409,676	2,448,579	4,958,766	3,480,000	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147 (内線21-3412)
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	日光国際音楽祭 第四回声楽コンクール	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	948,000	うち県費474,000円
参加費	1,000,000	予選 5,000円×50名=250,000円 本選 25,000円×30名=750,000円
伴奏者依頼料	136,000	
協賛金	580,000	国際ソロブチミスト日光、ホッタガクフより他広告収入
自己資金	732,579	Office.SHIMOJISSIMOより
計	3,396,579	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町	県交付金		
賃金	554,864	0	0	554,864	スタッフ賃金(当日スタッフ、事務スタッフ、記念写真・ビデオ撮影等)
報償費	764,415	330,000	165,000	434,415	謝金(審査員、公式ピアニスト、ゲスト)、トロフィー代、入賞者賞金210,000円
旅費	153,327	80,000	40,000	73,327	審査員宿泊、スタッフ交通費・宿泊費
消耗品費	97,849	70,000	35,000	27,849	文具、インク、封筒等事務用品代
食糧費	74,158	0	0	74,158	審査員等お弁当代22,850円、食事代4,352円、お土産35,456円、スタッフ食事代11,500円
印刷製本費	176,437	50,000	25,000	126,437	チラシ、ポスター、募集要項、プログラム、案内葉書、ステージ看板印刷代等
通信運搬費	320,464	150,000	75,000	170,464	郵送料、電話代等
委託料	339,440	10,000	5,000	329,440	ピアノ調律代、HP整備代、プロモート手数料、ステージマネジメント代
使用料及び賃借料	379,500	0	0	379,500	ホール使用料、ホール付属設備使用料139,500円 事務所家賃(年間)240,000円
広告費	418,824	250,000	125,000	168,824	雑誌掲載料等
備品費	50,863	0	0	50,863	事務局用備品費
手数料	57,097	8,000	4,000	49,097	アドビ(チラシ等作成用PCソフト)年間ライセンス代52,320円、収入印紙4,000円、クリーニング代777円
光熱費	9,341	0	0	9,341	事務所光熱費
計	3,396,579	948,000	474,000	2,448,579	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光MOMIJIKAプロジェクト
事業主体の名称	日光MOMIJIKA
代表者の名称	須藤 幸喜
事業主体の所在	日光市今市1240-3-204
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 市内で捕獲されるシカの皮革に着目し、廃棄されるシカを資源化し、地域産物として有効活用を目指す。 また資源利用をとおして、生命の尊重、地域の活性及び都市部との事物共有を図る。</p> <p>・設立年月日:平成27年1月 ・構成員等:地元住民及び関係者15名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	シカによる農林業被害は後を絶たず、市では年間4,000頭ほどのシカが駆除され、その多くは焼却・埋設により廃棄されている。その背景には、福島第一原発事故による放射性物質の影響があり、食肉利用することが極めて困難な状況におかれている。そこで、食品安全基準にかからないシカの皮革に着目し、新たな資源の発掘並びに地域ブランドとしての構築に努める必要がある。
事業目的	<p>・人間の都合で捕獲するシカの命を尊重し、少しでも資源として活かす。</p> <p>・シカを日光の人々にとって山の恵みとし、山と生きる活力にする。</p> <p>・観光客など都市部の人々にシカと触れてもらい、日光の出来事を身近に感じてもらう。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 【概要】</p> <p>一年を通して市内の施設や公民館にて普及啓発のための体験教室を開催した。</p> <p>毎月第四土曜日にメンバーが集まり、勉強会を開催した。</p> <p>それと同時に道の駅に出張し、制作した商品の展示・販売を行った。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の猟師に向けて→シカ革細工の体験やイベントを通して皮の剥皮の協力を求めた。 ・地域住民に向けて→シカ革細工の体験教室を実施し、革製品の製作の担い手を募集した。 ・地域全体に向けて→市内のイベントに出店し、展示販売会・鹿革の資源利用を推進した。 <p>【平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シカ皮革の資源利用に向けての人財育成に力を入れつつ、PRイベントを開催予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して働くことができ、安定した生活を支える「しごと」をつくる</p> <p>【KPI】伝統工芸等のブランド認定件数 H27年度:0件 ⇒ H31年度:5件 【H29実績6件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	シカ皮革の 普及促進活動	シカ皮革の 普及促進活動	シカ皮革の 普及促進活動		シカ皮革の 普及促進活動
事業費	5,187,949	4,038,975	4,600,000	13,826,924	4,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	1,600,000	600,000	4,200,000	0
うち県交付金	1,000,000	800,000		1,800,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,187,949	2,438,975	4,000,000	9,626,924	4,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	日光 MOMIJIKA プロジェクト	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	1,600,000	うち県補助金 800,000円
事業収入	2,289,600	鹿革販売
会負担金	0	
自己負担	149,375	代表者出資金
計	4,038,975	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	50,000	50,000	25,000	0	講師謝金
旅費	56,580	56,000	28,000	580	普及イベント等交通費
消耗品費	153,613	134,000	67,000	19,613	自家鞆のための 植物タンニン、業務用ペンキ、 その他事務用品等
燃料費	61,520	0	0	61,520	生皮回収ガソリン代
コミュニティ経費	8,519	0	0	8,519	会議等飲み物代
印刷製本費	10,315	10,000	5,000	315	チラシ製作費2,210円、ポスター製 作費8,105円
通信運搬費	103,001	17,000	8,500	86,001	FAX通信費17,820円、 生皮発送料85,181円
委託料	1,670,280	190,000	95,000	1,480,280	鹿革鞆し加工代1,478,520円、 事務所整備委託費191,760円
使用料及び賃借料	51,080	11,000	5,500	40,080	会場使用料
原材料費	717,500	717,000	358,500	500	生皮買取費用
備品購入費	1,089,199	378,000	189,000	711,199	体験・体験用革細工工具購入代
その他	67,368	37,000	18,500	30,368	
計	4,038,975	1,600,000	800,000	2,438,975	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合